

## 幕末・近代の書

平成 28 年 11 月 12 日講演資料 高橋利郎

### 1. 日本書道史の画期

漢字の受容（聖武天皇、光明皇后、写経）

仮名の誕生（秋萩帖、高野切）

武家の台頭（平家納経、墨跡）

江戸の平和（本阿弥光悦）

明治維新（副島種臣、三輪田米山）

第二次大戦（比田井南谷、金子鷗亭）

### 2. 近代の書をめぐる環境の変化

毛筆の終焉 明治 10 年代後半～万年筆の国内販売 明治 20 年～国内で鉛筆の量産

公のペン、私の毛筆

教育制度の変更

教養の変化

中国文化の直接的受容 明治 10 年駐日清国公使館の設置

### 3. 幕末の書・明治の書

頼山陽・市河米庵・巻菱湖—近代への系譜

維新时期の人びと—勝海舟、三条実美、伊藤博文、原敬

建碑の流行と楷書—日下部鳴鶴、巖谷一六

文学と造型の距離—中林梧竹

「みやび」の姿—御歌所歌人の書